全国から続々

市環境観光大使のアルピニスト野口健さん など総社市を応援してくれる人たちがいま す。このほかにも、篠田昭新潟市長、竹下 司津男古賀市長、樋渡啓祐武雄市長など全 国各地から総社市に駆けつけ、それぞれの 自治体で行っていることを伝授してくれた り、アドバイスしてくれています。ここで は、そんな「そうじゃ応援隊」を紹介。今 回は、10月16日に来総した埼玉県の上 田清司知事です。



立って業務をこなす 題などを改善し 成果を具体的な数値で客観的に 田知事は、 力をもたな や市幹部職員ら約 合福祉センタ てきた手法を紹 で埼玉県の上 0 人に 田清司知事が、

埼玉県が抱えていた治安や財政、 片岡市長と地域主権や職員の育成などに 上田知事は、職員が真に県民目 それを防ぐ 「成果を出す行政」 「行政は独占企業 ためには

子育て王国そうじゃ|応援大賞

緑さん



障が

平成19年から市内全域を対象に活動開始。障が いのある子どもを対象とした仕事体験(ぷちワーク) の実施や清掃活動などの地域のボランティア参加の 支援を行っています。また、ぷちワークに付き添う ジョブサポーターの養成や受け入れ企業の確保な ど、障がいのある子どもの子育てと、子育てを担う 家族の支援に貢献されています。

さくらんぼ さん



平成2年から活動を開始。市内全域の子どもたち を対象に、絵本の読み聞かせやお話会を開催するほ か、人形劇・パネルシアターなどの公演を、長年に わたり行っています。定例会を毎月開催。会員の読 み聞かせなどの技術向上の研修会も企画、実施する など、読書普及活動推進による子育て支援に取り組 まれています。

埜真史佳さん



地域の親子のふれあいの場、子育て交流のサロン として平成14年から多くの人に親しまれています。 市内で最初に発足したサロンであり、毎月第1・3 火曜日に開催。子育て経験のある地域住民がサロン の担い手として参加し、世代を超えた交流の場とし ても機能しており、子育てと子育てを担う家族の支 援を行っています。

市政功労賞 教育委員会表彰 「子育で王国そうじゃ」応援大賞

文化の日の11月3日に、市政功労者として高木光惠さん、荒木千代信さんを表彰。おかやま教 育の日である11月1日に市教育委員会では、大畑哲俊さん、浅野寿志さんを表彰しました。また、 「子育て王国そうじゃ | 応援大賞に、総社市インクルージョン推進事業協議会、さくらんぼ、子育 てサロンぐりとぐらの3団体を表彰しました。

市政功労省



スポ、 発展に貢献ーツ文化の

昭和46年から平成17年までの34年間、総社市体 育指導委員として地域のスポーツの普及、発展に寄 与。昭和39年に市体育協会の常任理事を、昭和58 年からは実務責任者である理事長を、平成22年から は会長を努められ、スポーツ文化の発展に尽力され ました。特に、平成17年の岡山国体の開催、そうじ ゃ吉備路マラソンの運営など、スポーツ振興に多大 な貢献をされています。

木 光恵

さん (真壁



障がい者福祉に

平成元年、精神障がい者通所作業所である「真壁 作業所」を私費を投じて設立。その後も事業を拡大 し、平成18年に特定非営利活動法人あゆみの会を設 立されました。平成20年から同法人の理事長に就任。 障がい者の社会生活訓練の場の提供をはじめとして、 長年にわたり市の精神障がい者福祉の向上に努めて こられ、障がい者千人雇用政策にも大きく貢献され ています。

教育委員会表彰

久代



文化振興に貢献

平成元年に市花の会の会員となり、現在も市内外 の小学校、公民館から依頼があれば、よりよい環境 づくりや後進の指導のために講師を務めています。 平成21年から同会会長として会員を取りまとめ、春、 秋の山野草展、さつき展、菊花展の開催をはじめ、 各種の花の栽培、展示講習会などに積極的に取り組 み、花と緑にあふれる美しい地域づくりと文化振興 に大きく貢献されています。

哲俊 さん



推進に貢献 人権教育の

平成8年に市教育委員会委員になり、平成11年に は同委員長に就任。任期満了の平成12年まで教育行 政の中心として活躍されました。また、市民一人ひと りに人権尊重の精神を正しく身に付けてもらおうと 発足した総社市人権教育推進協議会において、平成 15年から今年5月まで会長を歴任。人権意識の高揚 や指導力の向上のための講話などを行い、市の人権 教育の推進に大きく貢献されています。

31 Soja City Public Relations, 2013.12